

P067-001

会場：301B

時間：5月27日 13:50-14:01

太陽系・惑星科学とすばる望遠鏡

Solar System and Planetary Science with Subaru Telescope

布施 哲治[1]

Tetsuharu Fuse[1]

[1] 国天・ハワイ

[1] Subaru, NAOJ

天体を観測する際、地球の自転による見かけの動きをキャンセルするように望遠鏡を駆動させるのが一般的である。これを恒星追尾と呼ぶ。一方で太陽系内天体は、天体自身が太陽の周りを公転している。そのため観測には、天体の移動に合わせて望遠鏡を駆動させる非恒星追尾が必要だ。すばる望遠鏡には高精度な非恒星追尾の機能をはじめ、現在7つの観測装置が備わる。今後の太陽系・惑星科学に、すばるはどのようなシーンを切り開いてくれるのか？ 望遠鏡のシステムや観測装置の特徴を紹介するとともに、これからの展望をまとめる。